

三田 満美 聴取-0325		
ここには恋人の生三とともに山へハイキングをしていたところ、道に迷って訪れました。目は昔病気にかかり、そこから見えなくなってしまって。今では、点字等も読むことができます。ここにも数冊あり、書斎からいくつか借りることができて嬉しいです。		
館にいる人について		
人物	印象	死体発見前夜の話
市川 睦月	すみません。話もしなかったのでわからなくて。	彼（生三）と一緒に部屋に居ました。特に気になることは何も。
一ノ瀬イチカ	綺麗な声の方ですね。聞き取りやすい声をしていて、時々手を貸してくれます。	
二戸 仁	すみません。話をしなかったのでわからなくて。	彼（生三）と一緒に部屋に居ました。特に気になることは何も。
双葉 宗次	優しい？方でしょうか。あまり関わっていないので、わかりませんが、でも意地悪などはされたことないです。	
生三 宮	すごく、すごくいい人で、優しくて、私にはもったいないくらいの本当に大好きで大好きで・・・	私は少し疲れていて、その見えないところでいろいろ起きたのでぐっすり寝ていたのです。彼がいつ部屋を出たかも分からなくて、ごめんなさい。
三田 満美		
詩志麻 司馬	怖かったです。あまりいい言葉ではないですけど、彼が亡くなってホッとしました。	部屋に居ました。部屋以外は一人で歩けないので、部屋に居るしかないのですが。
御膳 檣檣	色々助けてくれます。	
陸良 ゼスク	少し怖いです。威圧感というか。できればあまり関わらないようにしています。	
志知沢 七	言葉はぶっきらぼうですけど、誰よりも感情豊かな人ですね。	
????? (8の客)	わかりません。	
九重 弓香	忙しい中、いつも気遣ってくれます。実は私のスープだけ火傷しないように最初に盛って少し冷ましてくれるんですよ。	
館へ来た日		メモ
3月20日		彼女の仕草からも本当に見えないことがわかる。見えないふりをしているわけではなさそうだ。